



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# 松下電器産業株式会社 (D)

1995年3月、松下電器産業は、MCAを売却することに決め、カナダの飲料会社のシーグラムに絞って交渉を続けていた。最後の問題は、MCAをいくらに評価するのかということと、松下電器が全株式を売却してしまうのか、一部を引き続き所有するとすれば、何%所有するのか、ということであった。5

### 1995年の経営方針の発表

10

1995年1月10日、松下電器は、大阪枚方市の自社の体育館に約3,500人の幹部社員を集めて、1995年度の経営方針発表会を開いた。MCAのワッサーマン会長とシャインバーグ社長も来日して、この発表会に出席した。この発表会で、森下洋一社長は今後の経営方針として、「事業の選別と集中を進める。特に、マルチメディアを支えるキーデバイスに経営資源を注力する」と述べた。15

経営方針発表後の記者会見で、森下社長は「現在、MCAを手放すというプランはない」と語った。また、1995年末で任期が切れるワッサーマン会長とシャインバーグ社長の処遇は、「時期が来れば双方で話し合いをして決めていく」と述べて、1月11日に松下電器本社で開くエグゼクティブ・コミッティーではこの問題に触れないとの考えを示した。<sup>1</sup>

---

<sup>1</sup> 日本経済新聞（1995年1月11日），p. 7

本ケースは、慶應義塾大学教授の鈴木貞彦が同大学院経営管理研究科でのクラス討議のために、公表資料にもとづいて作成したものである。このケースは経営の巧拙を例示するためのものではない。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8523 神奈川県横浜市港北区日吉本町2丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は<http://www.kbs.keio.ac.jp/>へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

Copyright© 鈴木貞彦（1996年1月作成）